



【表紙写真】 IVRセンターME課 スタッフ

アブレーション治療200例と心電図検定

特定看護師コラム

部署紹介【IVRセンターME課】

ナーシングホームひだまり

フットケアニュースレター

健康だより【ストレスサインって知っていますか？】

尚志館高等学校への寄附について

マイナビ看護学生就職セミナー参加報告 / 鹿屋体育大学サッカー部通信

4月 外来診療表



保険証の代わりにマイナンバーカードで

マイナ受付

患者の皆さま、
マイナンバーカードで
受付してください✓

今回お持ちでない方は、次回からご持参ください。

一人ひとりの過去の薬剤・診療情報などに基づいたより良い医療が受けられます



アブレーション治療200例と 心電図検定

2024年10月より、池田病院循環器内科に不整脈専門医が常勤医として着任いたしました田上和幸(たのうえ かずゆき)です。(写真1 前列左から2人目)。おかげさまで約1年半が経過し、これまでに200例のカテーテルアブレーション治療を施行することができました(写真1)。これもひとえに、日頃より患者様をご紹介いただいております先生方のご支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。今後とも変わらぬご紹介とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

また、当院ではスタッフ教育にも積極的に取り組んでおります。昨年末に実施された心電図検定試験を含め、現在、心電図検定1級取得者が3名(医師2名、臨床検査技師1名)、2級取得者が1名(1西病棟看護師)、3級取得者が3名(1西病棟看護師1名、臨床工学技士2名)、合計7名が在籍しております(写真2)。心電図に精通したスタッフがチームとして診療に携わることで、患者様により安心して医療を受けていただける体制を整えております。

池田病院循環器内科不整脈チームは、「笑顔と真心で最良の医療サービスをお届けします」という理念のもと、今後も研鑽を重ねて患者様にとって最善の医療を提供できるよう努めてまいります。

循環器内科 医師 田上和幸



写真1



写真2



特定看護師コラム

2月の寒さが懐かしく感じ、気づけば年度末に差し掛かる今日、コラムの原稿を前にし、昨年を思い返しています。私の趣味はフカセ釣りですが、魚が釣れるといまだに手が震えるほど興奮し、はたまた思ったような釣りができず、メジナの顔を拝めないとなったらどうやったら釣ることができるのかと考え、頭の中でイメージし釣りを楽しむ。魚が釣れても釣れなくてもどっちに転んでも楽しいのかい！とツッコミを入れたくなります。そんな話はまたいつかの機会にとっておきます。看護部外来師長の河野です。

4月のあいことばが発行される頃には、桜が咲きほこり新入職員を迎え入れ、また、新しい気持ちで新年度を迎えていることでしょう。昨年度を振り返り、長期研修に行かせて頂いたことに感謝を込めて、コラムを書きたいと思います。

昨年4月から私と、看護部1階病棟の松崎師長と鹿屋訪問看護ステーションの福満看護師とともに、公益財団法人慈愛会今村総合病院の特定行為研修センターの門を叩き、約1年間の特定行為研修がスタートしました。看護師は、これまでは多くの医療行為は医師の指示を待たなければ実施できませんでした。しかし、特定行為研修を修了した看護師であれば、医師とともにあらかじめ作成した手順書に基づき、患者さんの状態を判断して必要な医療行為を実施することができます。その結果、例えば呼吸状態が悪化した時や脱水や循環の変化が起きた時、あるいは創部やドレーン管理が必要なときなどにより早い対応が可能となります。しかし、特定行為研修を修了した看護師は「医師の代わり」ではなく、「医師とともに」医療を支え、患者さんや院内で働く医療職を支える専門職として活動します。長期間の研修では e-Learning で自己学習を行い、研修センターにおいて講義受講や実践を行い、各特定行為区分における行為に応じて実践を繰り返し、症例レポートに取り組んで無事修了証を手にすることができました。池田病院では初めてとなる特定行為研修修了生として、今後の活動の計画や看護師特定行為委員会の立ち上げのほか、学んだ知識や技術を地域の皆様にもどのように還元すればよいのかを考えていきたいと思っています。



池田病院の特定行為研修修了生の揺るがないスローガンとして

「We are the Local Master Key-For Every Patient,EveryNeed.」を掲げました。

We are the Local Master Key

「私たちは一緒に働く仲間そして地域のマスターキーである」

Every Patient,EveryNeed

「すべての患者さん、すべてのニーズに応えるために」

という意味を添えて永遠のテーマと考えています。池田病院の理念にもある「笑顔とまごころで最良の医療サービスをお届けします」を常に意識して日々の実践に取り組んでいきたいと思っています。



これまでは「救急外来コラム」「外来コラム」として掲載してまいりましたが、今後は研修を修了した仲間たちと「特定看護師コラム」として月ごとに掲載していきたいと思っています。

最後に、今回の特定行為研修を一緒に受講した県内外の仲間たちとの写真でコラムを締めたいと思います。どうか今後ともよろしくお願い致します。



外来看護師長 河野竜太

IVRセンター—ME課

うららかな春の陽気と共に、新年度がスタートしました。

IVRセンターME課では現在5名の常勤スタッフが在籍し、主に血管内治療業務や不整脈治療業務、内視鏡業務、手術室業務に携わっています。また、緊急の必要に応じてME課と協力し、24時間365日オンコール体制も整えています。

今回、私たちが病院内の各セクションで、どのような業務を行っているかについて紹介します。

【血管内治療(IVR)業務】

IVR(Interventional Radiology)とは、画像診断技術を用いてカテーテルや穿刺針などのデバイスを体内に挿入し、低侵襲的に診断行為や治療を行う医療技術です。

当院では、放射線科をはじめ循環器内科、脳神経外科、肝臓内科、腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科・外科など多くの診療科がさまざまな疾患に対して手技を行っています。

私たち臨床工学技士の役割として、日頃より生命維持管理機器の操作やモニタリング、血管内エコーにおける解析やメンテナンスのほか、物品の準備や管理、疾患に合ったデバイス選択のための知識習得にも努めています。また、場合によってはガウンを着用して医師の手技のサポートも行っています。

臨床現場では、医師をはじめ看護師や診療放射線技師、臨床検査技師などさまざまな職種がかかります。これらの職種は、国家資格取得に至るまでの教育課程や求められる役割がそれぞれ異なりますが、それぞれの強みを活かしつつ弱みを補完し合うことで、患者様に最良の医療を提供することを共通の目標としています。

IVRセンター 臨床工学技士 係長 中村真一

【不整脈治療業務】

アブレーション(心筋焼灼術)とは、頻脈性不整脈(主に心房細動や発作性上室頻拍)に対して、原因となる異常な電気信号の発生部位をカテーテルで焼灼し、不整脈を根本的に治療する方法です。

不整脈治療業務では、アブレーションやペースメーカー植え込みの補助、外来でのフォローアップ、遠隔モニタリング対応、MRI撮像時のデバイス管理など、幅広い業務を担当しています。アブレーション治療においては、スティムやラボシステム、カルトシステムなどの高度医療機器を操作して医師の治療をサポートしますが、安全かつ円滑な治療の実施に重要な役割を担っています。これらの業務は単なる機械操作にとどまらず、治療の安全性と質を支え、患者様の生活の質(QOL)に直接かわる重要な責務であると認識し、日々の業務に取り組んでいます。現在は、「植込み型心臓不整脈デバイス認定資格取得」を目標に研鑽を積んでいます。今後も、よりよい医療を提供できるよう、医師をはじめとする多職種スタッフおよび医療機器メーカーと連携し、専門性の向上とより安全な医療の実践に努めてまいります。

IVRセンター 臨床工学技士 山城 海斗 舞嶋由希

【内視鏡検査業務】

当院では、内視鏡検査業務専従の臨床工学技士として、ME課の1名が従事しています。主な業務として、消化器内視鏡検査・治療における機器管理および操作補助を担当し、安全に検査・治療が行われる環境づくりに努めています。また、内視鏡システム(スコープ・プロセッサ・光源装置)や内視鏡洗浄消毒装置および電気手術器具の始業点検のほか、トラブル対応や処置具の準備・管理も行っています。

内視鏡室で行われる上部及び下部消化管の内視鏡治療だけではなく、内視鏡的逆行性膵胆管造影検査(ERCP)など、IVRセンターで行われる透視化の検査・治療についても介助業務を行っています。

常に医師、看護師と連携しながら、医療安全の確保を最優先とし、チーム医療の一員として円滑な検査体制支援に取り組んでいます。

IVRセンター 臨床工学技士 主任 徳留剛志

.....

【手術室業務】

手術室における臨床工学技士の役割とは、生命維持管理装置をはじめとする医療機器管理の専門職として、手術室において安全で円滑な手術の実施を支えています。手術中に使用される各種医療機器の準備や操作及び保守管理を行い、医師や看護師と連携しながら患者さんの安全確保と手術の質の向上に貢献しています。

手術室では内視鏡手術装置や電気メス装置及び各種エネルギーデバイスなどの医療機器のセッティングのほか、作動確認やトラブル対応を行っており、機器が常に最適な状態で使用できるよう管理しています。

近年、医師の働き方改革において業務のタスクシェア・タスクシフトへの貢献が求められることとなり、厚生労働大臣の告示研修を受講することで業務範囲が追加されました。その中には内視鏡手術においてスコープオペレーターとしての役割があり、内視鏡カメラの操作を行い術者が最適な視野を確保できるよう調整する重要な役割を担っています。術者の意図を理解しながらカメラの位置や角度、ズームなどを適切に操作することで、手術の円滑な進行をサポートしております。

このように臨床工学技士は、医療機器の専門知識と技術を活かし、手術チームの一員として安全で質の高い手術医療の提供に貢献しています。

これからも働き方改革において業務範囲が追加されていくと思われませんが、様々な医療機器の操作やトラブルシューティング等に対応できるように日々研鑽し、患者さんへ最良の医療を提供できるよう努めて参りたいと思います。

手術室 臨床工学技士 六反田裕久

介護老人保健施設 ナーシングホームひだまり



2月は各フロアで節分の行事を行いました。
豆まきの代わりに手作りのボールを使い、各階ごとに工夫を凝らしたレクリエーションを楽しんでいただきました。
ご利用者の皆さん積極的に体を動かされ、笑顔あふれる楽しい時間となりました。



3月は各フロアでひな祭りの行事を行いました。
レクリエーションでは衣装や小道具を用意し、皆さん思い思いのポーズで撮影会を楽しんでいただきました。
昔のひな祭りの思い出を語られる姿も見られ、和やかな時間となりました。
おやつの中には甘酒やひなあられをご用意し、「甘酒が美味しかった」と喜ばれる声が多く聞かれました。



ひだまり 管理栄養士 西田かおり

●介護老人保健施設とは、介護が必要な方の家庭復帰・在宅支援をめざし、生活サービスを行います。

利用対象者：介護保険の被保険者が対象となります。要支援1・2/要介護1～5の方(入所サービスは要支援を除きます。)

手続き方法は、当施設か、担当ケアマネージャーにご連絡ください。見学をご希望の方はいつでも2階の受付またはお電話にてお申し付けください

ひだまり通所リハビリ

※月曜～土曜日のどの曜日も受け入れ可能です。短時間利用のコースもあります。新規にご利用を希望される方は問い合わせ先までご連絡ください。 ◆お問合せ先：通所リハビリ 繁昌(支援相談員)

ひだまり訪問リハビリ

※住み慣れた在宅での生活が安心・安全にその人らしく継続できるように支援して参ります。こんなことが楽にできるようになりたい、こんな生活がしたいなどの希望があれば下記連絡先までご連絡ください。 ◆お問合せ先：訪問リハビリ 星野(理学療法士)



介護老人保健施設
ナーシングホームひだまり
ショートステイ/通所リハビリ/訪問リハビリ
代表(0994)41-1200/通所(0994)41-1725

ひだまりホームページアドレス
★<https://rouken.ikedahp.com>
ホームページからのお見舞いメールもぜひご利用ください



ご存じですか？

* 足の虚血とは：足の血管が詰まること

重症な足虚血の5年生存率は20～30%、がんよりも予後不良なんです！

あなたは当てはまりませんか？

- 糖尿病がある
- 透析をしている
- 足が冷たい
- 爪が厚い・変形
- 靴ずれが治りにくい
- 足裏にタコ
- 色が左右で違う
- しびれがある
- キズが治りにくい



足の虚血が起これると、歩行で痛みが出てきます。



でも、

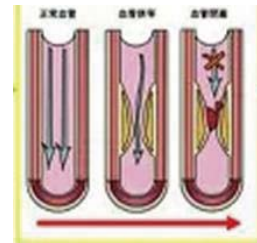
足のトラブルは、

痛くないまま進むこともあり、手遅れになることも・・・

一つでも当てはまれば、

足の血流障害の可能性がります

気になった方は、主治医にご相談ください。



指先の細い血管がいつのまにか詰まっているかも・・・

池田病院フットケアチームが、2026年度から正式に活動を開始します。

これまで以上に「足に関心を持つ人」を増やし、**足と命を守りましょう。**

スタッフのみなさま。

あなたの一言が、患者さんの未来を変えます！

足の変化に気づくのは、専門職だけではありません



足のことで気になることがあれば、

すぐにお知らせください。

作成担当：WOCN 磯上由美

“ストレスサイン”って知っていますか？ 早めの対処でこころの不調の予防になりますよ。

[全国健康保険協会 協会けんぽ HP より]

●環境の変化がストレスの原因になることも

春は環境の変化が多い季節です。職場では、昇進・昇格や異動、転勤など、新しい環境は新鮮で楽しみがある一方で、緊張が続いてストレスがたまりやすいともいえます。プライベートでは、転居や子供の進学、育児などでもストレスが高くなる場合があります。

ストレスは“悪いもの”と思われがちですが、適度なストレスは人がよりよく生きていくためには必要なものです。しかし、ストレスが過剰な状態になると、こころの不調の原因になります。



●あなたの“ストレスサイン”に気づこう

あなたがストレスを感じたとき、どんな体の不調が現れやすく、どんな気持ちになりやすいですか？

体やこころの“ストレスサイン”が現れた初期の段階で、適切に対処することができれば回復も早くなります。ストレスが長く続いて状態が悪化すると、うつ病などのこころの不調につながる可能性が高くなります。

あなたのストレスサインを知っておき、ストレスサインに気づいたら、休養をとったり気分転換をするなど、早めにセルフケアをすることがストレス解消を促し、こころの不調の予防につながります。

ストレスによる主な症状（ストレスサイン）

体のサイン
<ul style="list-style-type: none">・肩こりや頭痛、腹痛、腰痛などの痛みが出てくる・寝つきが悪くなったり、夜中や朝方に目が覚める・食欲がなくなって食べられなくなったり、逆に食べすぎてしまう・下痢をしたり、便秘をしやすくなる・めまいや耳鳴りがする
こころのサイン
<ul style="list-style-type: none">・不安や緊張が高まって、イライラしたり怒りっぽくなる・ちょっとしたことで驚いたり、急に泣き出したりする・気分が落ち込んで、やる気がなくなる・人づきあいが面倒になって避けるようになる

●毎日できるセルフケアを取り入れよう

ストレスを上手にコントロールするためには、毎日の生活習慣を整えることが大切です。バランスのとれた食事、良質な睡眠や休養、適度な運動などの習慣をつけることが、心身の健康のベースになります。まずはできることからスタートしてみましょう。

1日3食栄養バランスのよい食事をとろう

心身の健康を保つために、1日3食、規則正しく栄養バランスのよい食事をとりましょう。特に、毎日朝食を食べることが大切です。脳は睡眠中もエネルギーを消費しているため、朝食を食べずにいると脳のエネルギーが不足してしまい、イライラしたり集中力や能率が上がりません。また、家族や親しい人などと食事のひとときを楽しむことがこころの栄養になります。

快適な睡眠時間を確保しよう

快適な睡眠は、疲労回復やストレス解消につながります。「快適な睡眠」とは、起きたときに気持ちのよい睡眠、日中に眠くならない睡眠のことです。快適な睡眠に必要な時間は個人差がありますが、日本人の標準的な睡眠時間は6～8時間と考えられています。就寝前のお酒やカフェインの摂取、喫煙、スマホの閲覧などは、入眠を妨げたり睡眠の質を低下させることがあるため控えましょう。

リラックスできる時間をつくろう

1日のうちで、リラックスできる時間を持つように心がけましょう。ゆっくりとした腹式呼吸をする、お茶を飲む、遠くの景色を眺める、ぬるめのお風呂に入る、ストレッチをする、好きな音楽を聴くなど、気軽にできることをやってみましょう。

毎日15分は体を動かそう

1日15分程度のウォーキングやストレッチ、体操など適度な運動をすると、リフレッシュ効果が得られます。また、適度な体の疲労は快適な睡眠につながります。休日は、スポーツをしたり自然の中を散歩するのもおすすめです。また、通勤時や会社内では、エレベーターやエスカレーターを使わず、階段を上り下りして体を動かしましょう。

こころの不調が続いたときは、精神科医や心療内科医などの専門家に早めに相談することが大切です。精神科医や心療内科医などを受診しづらいときは、まずは産業医やかかりつけ医などに相談してみましょう。公的機関の電話相談やメール相談などを利用するのもよいでしょう。

【監修】 東京大学未来ビジョン研究センターライフスタイルデザイン研究ユニット客員准教授 医師 医学博士 関谷 剛



こんにちは！保健師です。
春は楽しいことや喜ばしいことも多いですが、それに伴う環境の変化や新しい役割の追加などがあり、それが「楽しいはずなのに辛い」と感じるようなストレスになることもあるようです。自分のストレスサインにいち早く気づいてケアできたらいいですね。
保健師：徳田・小牧





学校法人川島学園 尚志館高等学校への 寄附について



池田病院は、鹿屋市をはじめとする大隅地域において、長年にわたり地域医療の中核的役割を担い、地域住民の皆様の健康と安心を支えてまいりました。高齢化の進展や医療ニーズの多様化が進む中、持続可能な医療体制を維持するためには、質の高い看護師の確保と育成が不可欠です。

当院は鹿屋市立鹿屋看護専門学校ならびに学校法人川島学園尚志館高校衛生看護科・専攻科の実習受入病院として、実践的な教育の場を提供し、多くの学生を地域医療人材として育成してきました。これらの教育機関の卒業生は当院のみならず地域の医療機関に広く就職し、地域医療を支える大切な担い手として活躍しています。

また、介護老人保健施設ひだまりにおいても、同じく尚志館高校から介護福祉士をはじめとした専門職の育成・採用に力を入れ、医療と介護の連携による包括的な支援体制の充実に努めています。

このたび医療法人青仁会は、これまでの連携への感謝と、今後さらなる人材育成および地域医療の発展に寄与することを願い、尚志館高校に対して運営資金としての寄附を行いました。本取り組みを通じて、地域の医療機関、関係各機関の皆様との連携を一層強化し、患者様ならびに地域住民の皆様にご信頼される医療・介護の提供に努めてまいります。

事務部長 寺前 学



〈画像は、池田理事長と井手元校長による贈呈式です。〉

マイナビ看護学生就職セミナー参加報告

3月14日に西原商会アリーナで開催された、「マイナビ看護学生就職セミナー」に池田病院が出展いたしました。会場には22病院が出展しており、鹿児島県出身者が約9割を占める約160名の学生が来場しておられました。その中でも、池田病院ブースには大隅地域出身の学生さんに多く訪れていただき、看護部門における教育体制や福利厚生について関心を寄せていただきました。また、各病院の出展以外にも制服の展示や国家試験対策の講演会なども催されており、学生は平均5.2か所のブースを回って積極的に情報収集を行っておられる様子でした。今回改めて、地元志向の学生に池田病院の魅力を直接伝えることができた貴重な機会となりました。

総務課 人事係：橋野友希



鹿屋体育大学 サッカー部 通信

Vol.42

九州大学サッカーリーグ 予定 (4月-5月中旬分)

4月にはいよいよ2025シーズンが開幕します。鹿屋体育大学サッカー部 (Topチーム) が参加する九州大学サッカーリーグは、4/11に開幕して11月中旬までの約7か月間、10大学2回戦制で計18試合を戦います。鹿屋でのホームゲームには、是非応援にお越しく下さい！

九州大学サッカーリーグ (4月-5月中旬分)

4/11 (土) 10:00 日本経済大学グラウンド
鹿屋体育大学 vs. 日本経済大学
4/12 (日) 13:00 九州産業大学グラウンド
鹿屋体育大学 vs. 熊本学園大学
4/18 (土) 11:00 鹿屋体育大学サッカー場
鹿屋体育大学 vs. 宮崎産経大学
5/16 (土) 11:00 西南学院大学サッカー場
鹿屋体育大学 vs. 西南学院大学

九州サッカーリーグ 予定 (4月-5月中旬分)

鹿屋体育大学サッカー部の2軍にあたるNIFS KANOYA FC (NIFS 1st) が参加する九州大学サッカーリーグは、4/4に開幕して9月上旬まで、10チーム2回戦制で計18試合を戦います。また、4月下旬より天皇杯県予選も始まります。

九州サッカーリーグ (4月分のみ)

4/4 (土) 15:00 大分スポーツ公園人工芝
NIFS KANOYA 1st vs. KMGホールディングス
4/5 (日) 15:00 大分スポーツ公園人工芝
NIFS KANOYA 1st vs. NEXUS都城
4/12 (日) 11:00 藤見公園陸上
NIFS KANOYA 1st vs. ヴェロスクロノス都農
4/19 (日) 11:00 鹿屋体育大学サッカー場
NIFS KANOYA 1st vs. 川副クラブ
5/17 (日) 13:00 長崎市営ラグビーサッカー場
NIFS KANOYA 1st vs. 三菱重工長崎

サッカー部 SNS のご紹介



インスタグラム



X (旧 Twitter)



YouTubeチャンネル

天皇杯 鹿児島県予選

1回戦 4/26 (日) 13:00 県立サッカー場A
NIFS KANOYA 1st vs. 第一工科大学
準々決勝 4/29 (水祝) 14:00 県立サッカー場A
準決勝 5/3 (日) 11:00 県立サッカー場A
鹿屋体育大学 vs. 準決勝進出チーム
決勝 7/25 (土) 18:00 白波スタジアム
決勝進出チーム vs. 鹿児島ユナイテッドFC (J3)

池田病院は鹿屋体育大学サッカー部を応援しています！

池田病院 外来診療表

4月

池田病院グループ
健康生活インフォマガジン

池田病院だより
あい・ことば

通巻第83号 2026年4月1日発行 発行所/医療法人青仁会 広報委員会
〒893-0024 鹿児島県鹿屋市下祓川町1830番地 ※ご希望の方に無料配布いたします

診療科目	月	火	水	木	金	土
総合内科	担当医	担当医	嘉川 颯太	担当医	森 理紗	担当医
腎臓内科			池田 徹	池田 徹	古城 卓真	
透析内科	古城 卓真 中村 英仁	潤田 英仁	古城 卓真 潤田 英仁	古城 卓真 潤田 英仁	古城 卓真 潤田 隆秀	潤田 英仁 中村 英隆
腎炎専門外来		古城 卓真				吉嶺陽造(第4)
血液内科	中嶋 秀人詞	中嶋 秀人詞	吉満 誠	竹下 有節	上野 卓也	中嶋 秀人詞
脳神経内科	足立 拓馬		岩田 真一			池田賢一(第1・3)
消化器内科	青木 孝弘	福迫 哲史		青木 孝弘	福迫 哲史	福迫哲史(隔週) 青木孝弘(隔週)
消化器専門外来			熊谷 公太郎	小牧 祐雅	佐々木 文郷	担当医
肝臓専門外来	今中 大	今中 大	平峯 靖也		今中 大	担当医
消化器内科 内視鏡	福迫 哲史		青木 孝弘	小牧 祐雅 福迫 哲史	佐々木 文郷 青木 孝弘	担当医
呼吸器内科	寒川 卓哉	上野 史朗	寒川 卓哉		上野 史朗 松木 田彬	
呼吸器外科	鬼塚 貴光	武田亜矢(第1・3)		鬼塚 貴光 上久保定一郎(第3)	植村 和代	
糖尿病内科			川本 雄大	上久保定一郎(第3)	植村 和代	
循環器内科	東福 勝徳	池田 大輔 東福 勝徳	東福 勝徳 神園 悠介	池田 大輔 大野 綾香	池田 大輔	池田 大輔
脳神経外科 脳・血管内科		羽生 未佳	富士川 浩祥			羽生未佳(第3)
リハビリテーション科						川津 学(第4)
整形外科	廣津 匡隆 井手 貴之	川井田 秀文	瀬戸口啓夫(隔週) 高野 純(隔週)		担当医	担当医
消化器外科	豊崎 良一				豊崎 良一	
放射線科(画像診断)	宮川 勝也	宮川 勝也		宮川 勝也	宮川 勝也	宮川 勝也
心臓血管外科		上野 隆幸			上野 隆幸	
乳腺外科	船迫 和		船迫 和	船迫和(手術日)	船迫 和	船迫 和
外傷総合外科				福森 和彦		
救急科	久木田 一朗	富士川 浩祥	久木田 一朗	富士川 浩祥	石神 崇	富士川 浩祥 石神 崇
歯科	奥家 涼子 淵田 亜沙子	奥家 涼子	奥家 涼子 淵田 亜沙子		奥家 涼子 淵田 亜沙子	奥家 涼子
健診内視鏡	堀之内 史郎	堀之内 史郎	堀之内 史郎	堀之内 史郎		
血液内科		中嶋 秀人詞	吉満 誠	竹下 有節		
消化器専門外来			熊谷 公太郎	小牧 祐雅	佐々木 文郷	担当医
消化器内科 内視鏡	青木 孝弘 福迫 哲史	福迫 哲史	熊谷 公太郎 青木 孝弘	小牧 祐雅 福迫 哲史	佐々木 文郷 福迫 哲史	
循環器内科	東福 勝徳		東福 勝徳			
循環器内科 (不整脈外来)		田上 和幸 山下 恵里香		田上 和幸 山下 恵里香	デバイス外来 田上 和幸 山下 恵里香	
脳神経外科 脳・血管内科	富士川 浩祥			石神 崇		
呼吸器外科		田畑圭佑(第2・4)				
リハビリテーション科						川津 学(第4)
整形外科			担当医		担当医	
脳神経内科	足立 拓馬		岩田 真一			
放射線科(画像診断)	宮川 勝也	宮川 勝也		宮川 勝也	宮川 勝也	
乳腺外科	船迫 和		船迫 和	船迫和(手術日)	船迫和(第1・3)	船迫 和
外科			白濱 浩司			
救急科	久木田 一朗	富士川 浩祥	久木田 一朗	富士川 浩祥	石神 崇	富士川 浩祥 石神 崇
歯科	奥家 涼子 淵田 亜沙子	奥家 涼子	奥家 涼子 淵田 亜沙子		奥家 涼子 淵田 亜沙子	奥家 涼子

【受付時間】 午前…8:30～11:00 午後…休診(午後診療は予約以外は休診となります) ※急患の場合この限りではありません。
 ※総合内科以外は必ずご予約の上、ご来院ください。
 ※かかりつけ医のある方は、必ず紹介状をご持参ください。(紹介状をご持参の場合もご予約が必要となります。)
 予約・変更・お問い合わせ

外来診療予約・変更
TEL:0994-45-5278
FAX:0994-45-5259

放射線科
TEL:0994-45-5163
FAX:0994-45-5271

健康診断・人間ドック
TEL:0994-40-8782
乳がん検診も承ります。

歯科
TEL:0994-43-6468

医療法人青仁会 池田病院

〒893-0024 鹿児島県鹿屋市下祓川町1830番地 <https://ikedahp.com>

☎ 109941-43-3434

☎ 109941-40-1117